

身の回りに起きた出来事など、
楽しい情報をお寄せください。
●役場企画財政課 (☎611-2724)

※広報紙に掲載した写真を提供し
ています。希望する方は企画財政
課へ問い合わせください。



望月社長（右）から目録を受け取る
半澤理事長（中央）と高橋町長



タカヤからどんぐりっこへ
寄贈された木製キッズハウス



岩手日野自動車の本社・盛岡支店の
完成イメージ図

**岩手日野自動車本社・盛岡支店
移転用地で地鎮祭**



くわ入れを行う山田社長

岩手日野自動車（山田直志社長）
の本社・盛岡支店の移転先である間
野々地内で6月23日、地鎮祭が行わ
れました。完成・移転予定は令和6
年。町が企業立地の促進や雇用創出
などのため推進している「市街化調
整区域における地区計画制度」で初
の事業となりました。

地鎮祭では、関係者ら約30人が参
加し工事中の安全を祈願。山田社長
は神事後のセレモニーで「本社・盛
岡支店は県全域における最重要拠点
として期待が掛かる」とあいさつ。
高橋町長は「事業推進にあたり、貴
重な財産をいただいた地権者、地域
の皆さまに感謝する」と述べました。

**タカヤからやはぱーくへ
木製キッズハウス寄贈**

町子育て世代活動支援セン
ター「どんぐりっこ」（やはぱー
く内）へ7月4日、総合建設業
のタカヤ（望月光雄社長）から
「木製キッズハウス」が寄贈さ
れました。同日、やはぱーくで
贈呈式が行われました。

寄贈品は縦横3段、高さ2・
5段で木の温かみを感じられ
る、2階建ての家を模した遊具
です。同日はお披露目の後、ど
んぐりっこを訪れていた子ども
たちが早速、キッズハウスで楽
しそくに遊んでいました。

贈呈式には、望月社長と高橋
町長、どんぐりっこを運営する
NPO法人矢巾ゆりかごの半澤
久枝理事長らが出席。

望月社長は「支店のリニュー
アルに伴い、贈呈先を探してい
た。ぜひ活用してほしい」とあ
いさつ。半澤理事長は「どんぐ
りっこの開設当初に大型遊具の
設置を断念した経緯があり、頂
くことができ大変ありがた
い。遊具を生かして交流の輪を
広げたい」と話しました。



避難所のレイアウトなどを
確認する参加者ら



フィンランドの伝統装飾
「ヒンメリボール」を作る親子



手作りのリースを高橋町長に
手渡す山本さん（右）



ポットに種をまく
町内施設の利用者ら

**農福連携でヒマワリ育成
関係者が種まき実施**

「農福連携」の取り組みと
して6月20日、第二新生園
でヒマワリの種まきが行わ
れました。マルベリージャ
パン盛岡と第二新生園、
ワークセンターむろおか、
あさあけの園の利用者ら約
20人がポットに種を植えま
した。育った苗は町内の遊
休農地に移す他、ヒマワリ
からの搾油も予定中です。

**山本さんから町へ
折り紙リースを寄贈**

町に対し6月24日、山本
佳子さん（矢巾1区）から折
り紙などで制作したリース
が寄贈されました。ヒマワ
リやユリ、カッコウなど、町
を象徴するものを折り紙で
一つずつ丁寧に作り、円板
にまとめました。現在、役場
1階町民ホールに展示中。
山本さんは「役場を訪れ
るたくさんの方に見てもら
えれば」と話しました。

**やはぱーくでイベント
にじいろモール開催**

やはぱーくで6月18、19
日、「プレサマーフェスティ
バルにじいろモールおさん
ぽココロ旅」が行われまし
た。2日間とも、町内外から
多くの来場者でにぎわいま
した。さまざまな工作が体
験できる「なないろワーク
ショップ」では、家族連れが
仲良く話し合いながら作業
を進めていました。

**災害時の行動を確認
土砂災害防災訓練**

町の土砂災害防災訓練を
6月19日、矢巾勤労者共同
福祉センターなどで行い
ました。南昌地区の住民や
町消防団など約25人が、災
害時の情報伝達や避難所開
設、避難者の受け入れ方法
などを確認しました。
同センターでは、居住や
物資保管など、避難所のレ
イアウトについて参加者が
関心を深めました。

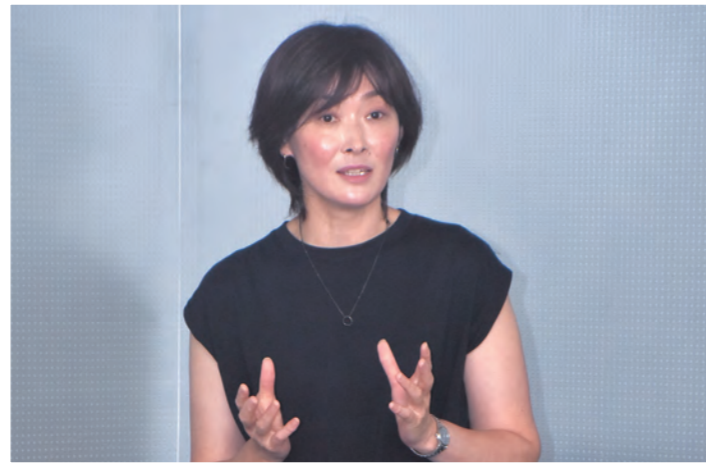


笹飾りが置かれたホールで、七夕の行事を楽しむ園児ら

煙山保育園で7月7日、「七夕まつり誕生会」が行われました。会場となった園内のホールには、園児らが願いを込めた短冊をくくり付けた笹飾りが置かれ、園児らは歌や手遊びなどを通して季節の行事を楽しみました。

誕生会では、7月に誕生日を迎える園児を祝った他、七夕の伝説に合わせた彦星と織姫の劇などが行われました。

短冊に願い込めて 煙山保育園で七夕行事



前向きな言葉を使い、笑顔で選手らと関わる重要性を述べる齋藤さん

元バレーボール全日本代表の齋藤真由美さんによる講演会が6月30日、町公民館で行われました。町内でスポーツ指導者など約20人が、前向きな言葉で選手に活力を与える「ベップトーク」の重要性を学習。齋藤さんは「脳が言葉から受ける影響は大きい。大事な時こそ、選手へ前向きな言葉」と呼び掛けました。

元バレー全日本 齋藤真由美さんが講演



町国民保養センターの周辺でヒマワリの苗植えに励む煙山保育園の園児ら

町国民保養センターで6月29日、煙山保育園の年長児31人がヒマワリの苗植えを行いました。同センターを運営する矢巾観光開発が苗200本を準備し、夏に向けた作業を行いました。

この取り組みは、町の夏の見どころとして煙山ひまわりパークが定着し、昨年、新たに和味フラワーパークも開設されたことから、温泉地もヒマワリで彩ろうと実施。保養センター沿いで南昌山登山口へ向かう沿道や駐車場内で、園児らが一生懸命、苗を植えていました。

苗植えを終え、同園の松田よつばちゃんは「上手に植えられた。ヒマワリは黄色い花でかわいい。きれいに咲いてほしい」と話しました。

同センターによると、ヒマワリの見頃は8月中旬ごろ。煙山ひまわりパークや和味フラワーパークと同時期になる見込みで、町の温泉施設でも夏の風物詩を楽しめそうです。

町の温泉地にヒマワリ 煙山保育園が苗植え



HOYAアイケアカンパニーとリサイクルに関する協定締結

コンタクトレンズを製造販売している同社と連携し、使い捨てコンタクトレンズの空ケースの回収を実施。リサイクルの収益は日本アイバンク協会へ寄付されます。

【写真・左から】HOYAアイケアカンパニーの橋本和武カンパニープレジデントと高橋町長。中央は回収ボックス。



損保保険ジャパン・トヨタL&F岩手3者で災害時の応急対策支援協定

町内における災害発生時や発生のおそれがある場合に、町が必要に応じて電動車両やフォークリフトなどの貸与を受けるなど、相互に連携することを通して、円滑な災害対応につなげます。

【写真・左から】損害保険ジャパンの井上健支店長、高橋町長、トヨタL&F岩手の高橋一仁社長

町が締結した協定を紹介

町は6月、2件の協定を締結しました。ここでは、協定の相手方と協定内容の概要を紹介します。



町内に残されている稲荷街道を散策する参加者ら

なるほど歴史講座 志和稲荷街道などを散策

なるほど歴史講座の移動研修を6月18日、矢巾町と盛岡市、紫波町で行い、町民など約30人が参加しました。

かつて盛岡城から志和稲荷神社までをつないだ「志和稲荷街道」に関わる史跡などを見学。参加者らは、煙山ひまわりパーク北側に当時から残る松並木沿いを散策し、歴史に関心を深めました。



内閣総理大臣メッセージを読み上げる村松会長

社会を明るくする運動 総理メッセージ伝達

第72回社会を明るくする運動に伴い7月1日、矢巾町保護司会の村松正夫会長が高橋町長を表敬訪問し、内閣総理大臣からの運動への協力に関するメッセージを読み上げました。

この運動は、全国民が犯罪や非行の防止と立ち直りに理解を深め、協力して明るい地域社会を築くための全国的な運動です。